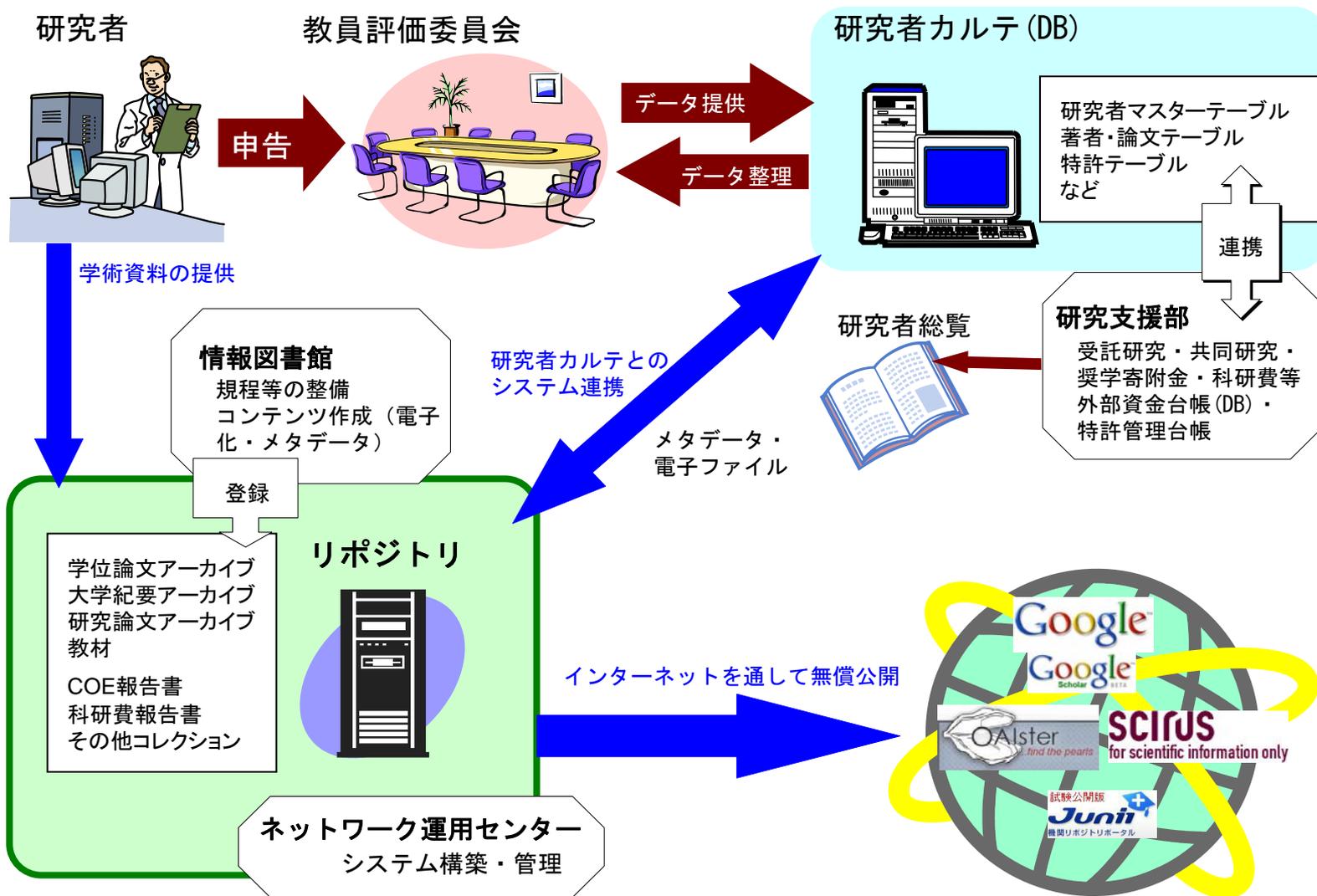


高知工科大学学術情報リポジトリの取り組み



■コンテンツ

◇教員評価システムとの連携

平成15年度から人事制度とリンクした教員評価システムを導入しており、教員は、教員評価委員会に対し、論文の原文または複製を提出するよう義務づけられている。

教員評価システムと連携することで、雑誌掲載論文の収集が期待できる。

PDF化

昨年度までに提出された教員評価用の論文をPDF化

- 使用ソフト(Windows)
読んde!!ココ ver.12
Acrobat Professional 8
- 使用スキャナ
RICOH imagio Neo C385

課題:

- ・テキスト認識の精度
- ・公開のための著作権許諾の手続き

電子ファイルの収集

平成18年度教員評価システムでは、リポジトリでの公開を念頭に、公開承諾書と論文ファイルの著者最終版を収集した。

課題:

- ・手順の簡素化(公開承諾書の見直し他)
- ・教員への周知(著作権・原稿の版等)
- ・研究者カルテとの連携(メタデータ等)の協議

◇メタデータを作成

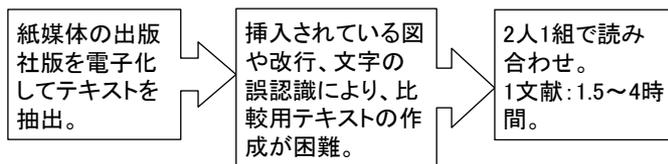
紀要論文と博士論文は、従来より電子化したうえ図書館WEB上で公開していたため、リポジトリへの移行が容易である。本年度はメタデータを作成した。

◇公開承諾書の様式の見直し

図書館WEBでの公開からリポジトリでの公開に移行するため、承諾書の様式を見直した。特に、論文を提出後、著者が大学から離れてしまう博士論文については、本人の連絡先を記入するようにした。

◇論文のチェック

「著者最終版と出版社版の差異を出したい」との希望があり、これを行った。



課題: 機械的に差異を出す方法を検討すること

■システム構築

◇仕様概要

サーバ: DELL PowerEdge 2950
CPU: Xeon 5160(3GHz)
メモリ: 4GB
ハードディスク: 約600GB(Raid5)
OS: Red Hat Enterprise Linux 4 ES
DBMS: PostgreSQL 8.2
+バックアップ装置(NAS)、無停電電源装置

ソフトウェア: DSpace 1.4.2

※システム構築はネットワーク運用センターが担当



■広報活動

◇教授会での説明

リポジトリの概要、本学の取り組みについて館長より説明

◇個別訪問

教員への個別訪問を実施

◇大学紀要へ投稿

リポジトリについて、教員の目に触れる機会を作る。

■経過と予定

平成18年度

- | | |
|--------|----------------------------------------------------|
| 18年 5月 | 作業部会設置。学長の承認を得る。 |
| 〃 | CSI事業委託申請 |
| 7月 | 事業採択を大学運営委員会に報告、並びに今後の事業概略等を説明 |
| 10月 | 教授会において情報図書館長より機関リポジトリについて説明 |
| 12月 | 博士論文の登録に向けて、登録・公開承諾書の様式変更 |
| 19年 2月 | 教員評価システムにおいて電子ファイルと公開承諾書の提出をいただけるよう、教員評価委員会に協力を得る。 |
- 広報のひとつとして、リポジトリへの取組みについて、大学紀要へ投稿

平成19年度

- | | |
|--------|---------------|
| 19年 5月 | テストサーバ設置 |
| 9月 | 構築方針、運用指針の文書化 |
| 〃 | 本サーバ試験公開 |
| 10月 | 本サーバ運用開始 |